



# 栗原おさむ News

## 新たな産業団地の開発について

足利市議会議長 栗原 収



### ●産業団地開発の取り組みについて

持続可能なまちづくりには、経済的な発展と生活環境の維持向上が求められ、まちの基礎体力いわゆる経済基盤を支えるのは産業力であり、農商工それぞれの産業力強化は持続的なまちの発展に不可欠です。

中でも、近年の経済産業省による工場立地動向調査では、全国の立地企業数の順位において北関東三県が上位を占め注目されており、本市にも旺盛な企業立地需要があります。この需要を「まちの将来活力」に結びつけるためには、時期を逸することなく新たな産業団地の開発に着手することが最も重要です。

### ●足利市の14番目の産業団地の状況

足利市には13団地、合計約230haの工業団地があり、97件の企業が立地しています。いずれの団地も分譲率100%であり、さらに、栃木県宅地建物取引業協会との連携により団地以外の情報についても、情報収集及び調査をしています。工場立地の相談に紹介できる用地がありません。

東武伊勢崎線県駅北側に、令和8年秋の完成を目指して約19haの産業団地を整備していますが、分譲開始前に面積比で5倍以上の相談を受けており、分譲後すぐに完売する見込みです。

### ■足利市の既存産業団地

13産業団地 230ha 製造業立地数 70社

No	団地名	開発主体	開発年度	開発面積
1	御厨工業団地	足利市街地開発組合	昭和39～昭和48	48.6ha
2	大月・助戸工業団地	足利市街地開発組合	昭和39～昭和51	34.2ha
3	久保田工業団地	足利市街地開発組合	昭和45～昭和45	13.8ha
4	八坂工業団地	足利市街地開発組合	昭和46～昭和47	8.3ha
5	羽刈工業団地	足利市街地開発組合	昭和44～昭和45	10.7ha
6	荒金工業団地	足利市街地開発組合	昭和45～昭和45	10.4ha
7	榊崎工業団地	足利市土地開発公社	昭和61～昭和61	8.0ha
8	八坂第二工業団地	栃木県企業局	平成元～平成2	23.3ha
9	毛野東部工業団地	栃木県企業局	平成2～平成3	14.4ha
10	あがた工業団地	足利市土地開発公社	平成8～平成8	6.5ha
11	西久保田工業団地	栃木県企業局	平成15～平成17	13.1ha
12	足利インタービジネスパーク	中小企業基盤整備機構	平成15～平成17	20.3ha
13	あがた駅南産業団地	栃木県企業局	平成28～令和元	18.4ha



### ■あがた駅北産業団地の概要

事業主体	足利市
所在地	県町、下渋垂町、百頭町地内
団地面積 / 分譲面積	約19.1ha / 約14.3ha
用途地域等	工業地域(地区計画あり)
建築基準	建ぺい率60%、容積率200%
工場立地法上の制限	環境施設率15%以上(内、緑地率10%以上)

インフラ関係	
電力	高圧電力、特別高圧電力(要相談)
ガス	都市ガス(供給予定)
用水	足利市上水道、地下水(要相談)
排水	企業が個別処理後、専用排水管へ放流
通信	光回線接続可

### ●15番目の次期産業団地について

企業の工場等の立地需要を「まちの将来活力」に結びつけるため、交通利便性の高い国道50号沿線に新たな産業団地の開発を目指します。

令和2年4月～令和4年8月の需要規模調査の結果、短期的(3～5年)な需要引き合いが26件(約43.5ha)、中期的(10年以内)な需要引き合いが12件(約33.3ha)ありました。

### ■工業用地需要への対応

年度	R6(2024)年度	R8(2026)年度	R13(2031)年度
需要時期		短期	中期
工業用地需要		約43.5ha	約33.3ha
			長期
工業用地需要			調査予定
現状	あがた駅北産業団地 分譲面積: 約14.3ha 令和8(2026)年度 造成工事完了見込み	あがた駅北の分譲面積以上の引き合い ・中期的需要約33.3haの受け皿がない ↓ 工業用地が再度不足する	
対応策		次期産業団地 分譲面積: 約33.3ha	企業立地需要 動向により判断

# 都市計画道路3・5・101号 毛野西新井線の整備について



知事へ要望書提出



本路線は、市中心部と国道50号を結ぶ重要な幹線道路です。

横手橋から国道50号までの区間は、市立山辺小学校及び山辺中学校の通学路に指定されており、約200名の児童・生徒が登下校に利用しているにもかかわらず、歩道が未整備であり、歩行者や自転車の通行がきわめて危険な状況です。

そこで、栃木県知事に対し、本路線を市道から県道に変更して県事業として位置付けられるよう要望し、事業着手されています。

周辺にはアキレス株式会社足利第一工場、堀里ニュータウンが立地し、交通量も多い状況であり、今後、山辺西部土地区画整理事業の整備に伴い、中心市街地から広域的な主要幹線道路である国道50号に連絡する本路線の重要度が今以上に高まることとなります。

引き続き、本区間の早期整備完了を要望していきます。

## ベトナム社会主義共和国視察報告（令和4年12月20日～24日）

### ●視察目的

本市産業界の課題である人材確保のためには、新たな国際戦略を展開する必要があり、これまで、投資先としてランキング上位であるベトナム国に注視し、栃木県やジェトロ栃木との連携を図ってまいりました。

今回、本市では経済界も含む独自の訪問団を組織し、栃木県・福田知事一行のベトナム国訪問に那須塩原市と共に同行しました。これを追い風と捉え、本市のPRを展開すると共に、今後の本市企業のベトナム進出や技能実習生等の受け入れが円滑に進展するための支援や、観光交流を推進できる都市を検討すること等を目的に視察を行ってまいりました。

### ●視察結果

今回の視察訪問は、栃木県・福田知事一行に同行したことで県人会との交流やビンフック省への訪問を通じて、ベトナム国の現状を肌で感じられ、特にビンフック省においては栃木県からの企業進出について熱意を感じました。

訪問先のベトナム国外務省では、経済交流等の本市の考え方を示し、本市との交流都市の検討を進め、引き続き今後も意見交換をしていくこととなりました。

企業訪問では、スタートアップ企業から日系製造業、ローカル製造業及びコーエーテクモソフトウェアベトナムを視察し、現地の雇用状況や業務の請負状況の確認、また、在日ベトナム日本国大使館も訪問し、投資先として将来的に有望であること、本市企業が業績を維持していくためには、ベトナム国との更なる経済交流が欠かせないことを痛感しました。

ベトナム国との交流は本市の産業振興に寄与するもので、栃木県をはじめ関係機関や市内企業等とも連携して、今後の経済交流等について検討していきます。



12月21日 タンロン工業団地説明風景



12月21日 ビンフック省会談風景



12月21日 Capichi VietNam 事業説明風景



12月22日 在ベトナム日本国大使館訪問



12月22日 KOEI TECMO 訪問



12月23日 ベトナム国外務省東北アジア局長会談



# 栗原おさむ事務所

〒326-0824 足利市八幡町1-2-8  
TEL:0284-72-8292 FAX:0284-73-6681

※お困り事や不都合な点などございましたら、お気軽にお申し付けください



HP



Eメール